

## ○ 排出権ビジネスの確立と推進 PJ チーム

[日揮㈱]

代表者 さわ 澤 だ 田 けん 健 た 太 (日揮㈱ 営業統括本部 新事業推進本部  
原子力・環境事業部)

メンバー 55名 (日揮㈱ 52名 日揮プロジェクトサービス㈱ 2名  
日揮プランテック㈱ 1名)

本件は、初めて国連で登録された日中間の大型CDM (Clean Development Mechanism) 事業であり、大気放出されている強力な地球温暖化ガス、フロンHFC23を分解し、地球温暖化を抑制するプロジェクトである。

CDM事業は、相手先政府の承認、国連審査などの一連の許認可手続きに加え、温暖化ガスを確実に削減する装置の建設・運転、更に削減状況を正確に計測・分析・記録するモニタリング・システムの構築が不可欠である。同社はプロジェクトマネジメント能力を十分に生かし、CDM事業全体をコーディネーションするとともに、工期を大幅に短縮して温暖化ガスの分解を早期に開始することに成功した。

本事業による温室効果ガス削減量に対して発行されるクレジット (CER : Certified Emission Reduction) は7年間でCO<sub>2</sub>換算約4,000万トンの予定であり、既に約460万トンのCERが国連より発効され、現在も事業は計画通りに進んでいる。エンジニアリング産業の新たな事業展開の先駆例として高く評価する。

